

1 単元名

「野菜の収穫パーティーをしよう」

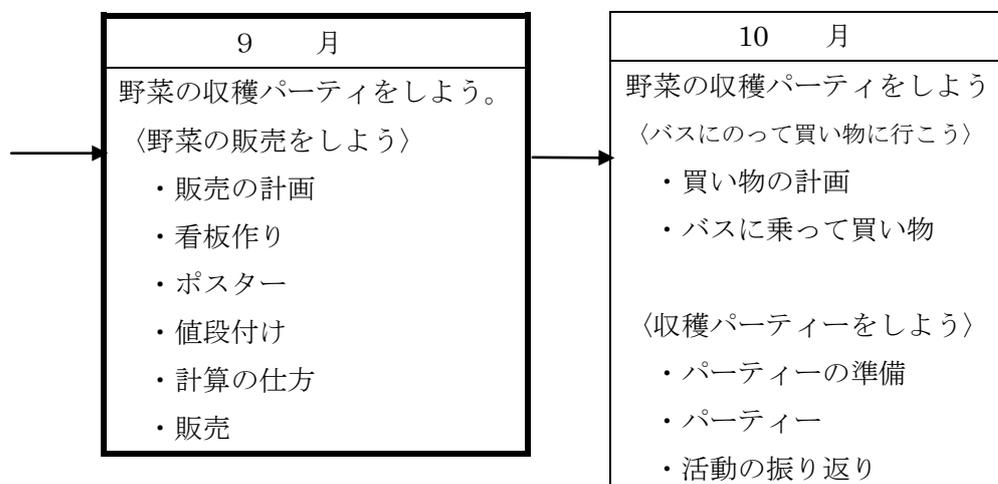
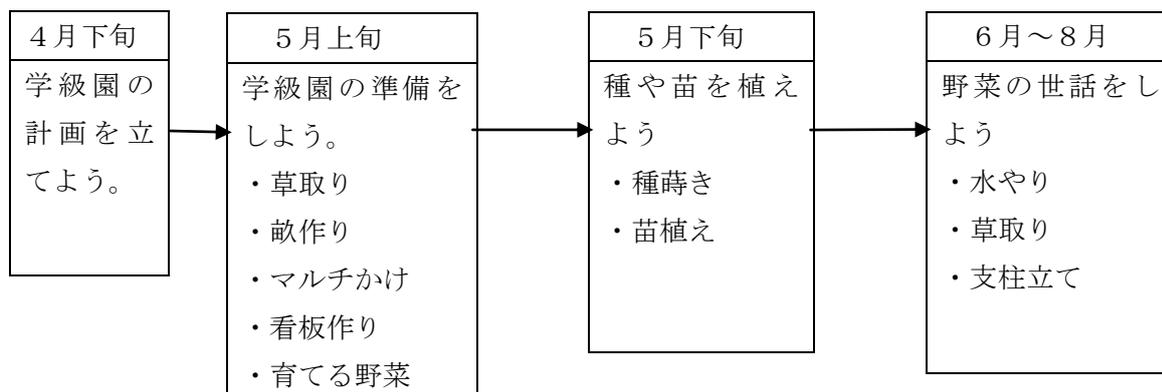
小単元名 野菜の販売をしよう

2 単元について

(1) 教材について

この小単元は、収穫パーティーを実施するために野菜を販売することを目的としている。学級園（やまびこレインボーファーム）でとれた野菜を販売する計画を立て店の準備や売る練習をし、地域でお世話になっている方や先生方に販売活動を行う。この活動を通して、児童が話し合ったり協力し合ったりしながら活動を進めていく力や、お客さんと上手に関わる力（コミュニケーション能力）を身に付けること、たし算やかけ算など学習したことを生活場面に活かすことをねらいとする。

【系統表】



(2) 児童について

やまびこ学級は知的障がい学級で、4年男子・5年男子の2名が在籍している。4年男子は、肢体不自由のため本学級での学習が中心で、5年男子は、国語・算数・生活単元学習等を本学級で行っている。

児童は、5月から「やまびこレインボーファーム」でいろいろな野菜を育てている。草取り・土作り・種蒔き・草取り・支柱立て・かかし作りなど意欲的に活動を行ってきた。野菜の観察では、お互いの気付きを積極的に交流することができた。

コミュニケーションの部分では、身近な人との関わりはできるが、他の人と関わることは苦手で、他の人が教室に入ると黙ってしまったり声が小さくなってしまったりと消極的になってしまうことが多い。

学年・性別	児童の実態
A (4年男)	<ul style="list-style-type: none">・人との関わりは、初めて会う人には緊張してしまい思うように活動できないことが多い。・文字を書くことは、指の機能が十分でないため時間がかかる。大きな文字であれば自分で書くことができる。・1桁どうしのたし算は、暗記できており正しく計算できる。繰り上がりのある2桁+2桁の計算もできるようになったが、繰り上がった数を忘れることがよくあり、正確さに欠ける。
B (5年男)	<ul style="list-style-type: none">・初めての経験や場所に対して不安感をもつことが多い。・人との関わりは、初めて会う人には緊張してしまい思うように活動できないところがある。・漢字の読み書きができないので、音読するのに抵抗がある。作文は平仮名だけの文章になることが多い。・かけ算九九は昨年度から継続して学習してきているが、完全に習得しているとは言えない。覚えていない九九は、かけ算一覧表を使いながら計算している。2桁×1桁のかけ算は、少ない数どうしはスムーズにできるが、数が大きくなるとたし算の部分ができず、答えを出せない。

(3) 指導にあたって

単元のはじめの場面で、お店を開くにはどんなものが必要か児童と話し合い、児童のアイデアを生かしながら学習の計画を立てていきたい。児童から出ない場合は、1年時の「お店やさんごっこ」を想起させ、店の名まえ付け・ちらし書き・看板作り・商品の準備・値段付け等が必要であることを確認し、計画の見通しをもたせたい。

また、看板や商品の準備・計算練習やお店屋さんの言葉の練習の場面では、2人で話し合ったり協力し合ったりする場面を多く設定し、児童どうしの関わりをもたせながら、進めて行きたい。また、お互いの活動を振り返る場面を終末に設け、お互いのよさや頑張りを認め合い自分のよさに気付かせていきたい。

[研究仮説との関わり]

〈手立て1〉

児童2人が協力して店の準備を行う。お互いのアイデアや準備・計算の練習場面を交流し、お互いのよさや頑張りを認め合うことで、自分の考えや活動に対する自己肯定感をもちたい。

〈手立て2〉

お店屋さんの計画を立てたり準備を進めたりする際に、児童が自分なりの考えをもち、それを交流しつむぎあいながら進めることで、よりよい考えをつくり上げていくことができる。また、お店屋さんの練習場面や販売場面で、活動が停滞したときに教え合ったり協力し合ったりすることで、よりよい関わり合い方ができる。さらに、お互いの発表を集中して聞いたり計算の仕方を認め合ったりすることで、お互いの活動に自信をもって取り組むことができる。

〈手立て3〉

学習した内容がこれからの活動に役立ち、生活をよりよいものにしていくことに気付かせ価値付けを行う。

3 単元の目標

ものを販売する経験を通して、売る喜びやお客さんと交流する楽しさを味わうことができる。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	国語に関すること	算数に関連すること	コミュニケーション
4年男子 ・楽しみながら活動に参加することができる。	4年男子 ・支援をうけながらお店のちらしやポスターをかくことができる。	4年男子 ・位を意識し、たし算の筆算でレシートを書くことができる。	4年男子 ・相手の目を見てあいさつをしたり、はっきりと話したりすることができる。
5年男子 ・課題に向かって意欲的に取り組むことができる。	5年男子 ・絵や文を工夫しながらちらしやポスターをかくことができる。	5年男子 ・かけ算かたし算かを判断し、レシートを書くことができる	5年男子 ・相手の目を見てあいさつをしたり、はっきりと話したりすることができる。

5 指導計画（全15時間）

時	学習内容	評価規準
1	学習の計画を立てる。	必要なことを出し合い、計画を立てることがで

		きる
2 3	ポスターを作る。	店の名前・日時・場所などを入れてポスターをかくことができる。
4 5	看板を作る。	お客さんのことを考え、見やすい看板を作ることができる。
6	お店やさんの話し方について考える。	お店やさんに必要な言葉を自分たちで考えることができる。
7	レシートの書き方の練習をする。	それぞれの計算の方法で、正しく計算できる。
8 9	売るものの準備をする。	袋詰めをしたり、値段のラベルをはったりすることができる。
10	お店やさんの手順を確かめる。	順番を考えながら、活動ができる。
11	足りないものの準備をする。	お店やさんに足りないもの、練習が必要なところが分かる。
12 (本時)	お店やさんの練習をする。	あいさつ、計算など大切なことに気を付けながら、お店やさんができる。
13	先生方や地域の方に野菜を売る。	あいさつ、計算など大切なことに気を付けながら、お店やさんができる。
14	売ったお金を計算する。	金種に気を付けて、正しく合計金額を計算できる。
15	感想をまとめる。	活動を振り返り、頑張ったことや楽しかったことを作文に書くことができる。

：つむぎあい

6 本時の指導（12／15）

(1) 目 標

お店屋さんに必要なこと（あいさつや計算）に気を付けながら、野菜を販売する練習ができる。

(2) つむぎあいでもめざす児童像

計算練習や野菜の販売練習のとき、お互いに声を掛け助け合いながら活動できる。

(3) 個人目標

児 童	目 標
A (4年)	<ul style="list-style-type: none"> ・2桁+2桁の計算でレシートを書くことができる。 ・目を見てあいさつをしたり、はっきりお話をしたりすることができる。
B (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算（2桁×1桁）かたし算（2桁+2桁）かを判断してレシートを書くことができる。 ・目を見てあいさつをしたり、はっきりお話をしたりすることができる。

(4) 展 開

段 階	時 間	学 習 活 動	指導上の留意点 ◆研究の重点 ◎評価
導 入	5分	<p>1 店についての計画等を想記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな準備をしてきたか。 ・販売後の計画 <p>2 本時の活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> やさいがたくさん売れるように, お店やさんのれん習をしよう。 </div> <p>〈がんばること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目を見てあいさつ ・正しく計算 ・きょう力 <p>3 学習の流れを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 〈学習のじゅんじょ〉 1 レシートれん習 2 あいさつれん習 3 お店やさんのれん習 4 ふりかえり </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を売って収穫パーティーをすることを短時間で確認する。 ・児童が安心して学習に取り組めるよう学習の流れを掲示しておく。

4 つむぎあい

(1) レシートを書く練習

ア 練習

- ・ 4年児童・・・2桁+2桁の練習
- ・ 5年児童・・・2桁×1桁の練習

イ 確かめ

- ・ 5年児童が4年児童のたし算の検算

(2) 言葉の練習

- ア 呼び込み……「いらっしゃい、いらっしゃい。」
- イ お客さんが来た時……「いらっしゃいませ。」
- ウ 質問された時……「〇〇です。」
- エ 品物を渡すとき……「ありがとうございました。」

(3) お店やさんの練習をする。

前半の計算：4年S児 手伝い：5年S児

後半の計算：5年S児 手伝い：4年S児

〈お店やさんの仕事のじゅんじょ〉

- ①あいさつ（2人）
- ②野菜をうけとる。
- ③計算、ねだんを言う。
- ④だいをもらう。
- ⑤おつりを計算
- ⑥しなものとおつりをわたす。
- ⑦あいさつ（2人）

〈手伝う人の仕事のじゅんじょ〉

あいさつ→しなものをうけとる→つつむ→わたす
→あいさつ

〈こまったとき〉

- ・ 4年児童・・・聞く。
- ・ 5年児童・・・やさしく答える。

◆5年児童に、4年児童のたし算の検算をさせ、〇つけをさせることで、交流させるようにする。
(手立て2)

・他の人が入ると緊張し話せなくなってしまう傾向があるので、2人で一緒に言わせるようにする。

◆計算練習・言葉の練習が上手にできたことを評価し、自信をもたせるようにする。

(手立て1)

・お客さんになってもらう先生には、あらかじめお願いしておく。(4人ぐらい)

・手元に順序を示す手順表を貼っておき、活動がスムーズにできるように配慮する。

・野菜等をビニール袋に入れるのは、計算していない方の児童が行う。

◆4年S児が売る係を行うときは、5年S児が順序を確認したり、計算を見てあげるようにする。また、困ったときはお互いに教え合ったり協力し合ったりして活動するよう支援する。
(手立て2)

◎お店屋さんに必要なこと（あいさつや計算）に気を付けながら、野菜を販売する練習ができる。(観察)

終 末	5	振り返り (1) 振り返りカードを書く。 ・目を見てあいさつができたか。 ・正しくレシートを書けたか。 ・協力できたか。	・簡単な評価カードを準備する。
		(2) 友だちが頑張っていたところを発表する。	◆お互いが頑張っていたところを具体的に発表させて、お互いのよさに気付かせ本時の学習の価値付けをする。 (手立て3)
	5分	6 次時の予告を聞く。 お客さん呼んで野菜を販売すること。	

(5) 評価

ア 全体の評価

お店屋さんに必要なこと（あいさつや計算）に気を付けながら、野菜を販売する練習ができたか。

イ 個人の評価

児童	評価規準
A (4年)	・2桁+2桁の計算で正しくレシートを書くことができたか。 ・目を見てあいさつをしたり、はっきりお話をしたりすることができたか。
B (5年)	・かけ算(2桁×1桁)かたし算(2桁+2桁)かを判断して正しくレシートを書くことができたか。 ・目を見てあいさつをしたり、はっきりお話をしたりすることができたか。

(6) 板書計画

めあて

やさいがたくさん売れるように、お店やさんのれん習をしよう。

① レシートれん習 ② あいさつれん習
② お店やさんのれん習

〈お店やさんの仕事のじゅんじょ〉
① あいさつ(2人)
② 野さいをうけとる。
③ 計算、ねだんを言う。
④ だき金をもらう。
⑤ おつりを計算
⑥ しなものとおつりをわたす。
⑦ あいさつ(2人)
〈手伝う人の仕事のじゅんじょ〉
あいさつ→しなものをうけとる
→つつむ→わたす→あいさつ
〈こまったとき〉きょう力
・4年児童…聞く。
・5年児童…やさしく答える。

学習のじゅんじょ
1 レシートれん習
2 あいさつれん習
3 お店やさんのれん習
4 ふりかえり

	目を見て あいさつ	正しく 計算	きょう力 4年…聞く 5年…やさしく教える
4年			
5年			